

# 平成26年度予算見積調書

課室名：温暖化対策課

担当名：埼玉ナビゲーション担当

内線：3032

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
A9	地理環境情報システム整備事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境学習推進費	
事業期間	平成21年度～	根拠法令	なし				戦略項目 09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
							分野施策 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>近年、地球温暖化問題をはじめとする自然環境の変動に対する関心が大きく高まっている。一方、環境に関する情報は大気や水質等の環境測定値のように、「数値」のみの提供が主である。</p> <p>このため、県民が「数値」と「場所」を結びつけた数値データ付きの地図を本県のホームページから閲覧できる「地理環境情報システム(GIS)」の整備等を行い、幅広い環境情報を分かりやすく提供する。</p> <p>(1) 地理環境情報システム整備事業 1,054千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 地理環境情報システム整備事業 1,054千円</p> <p>県民が本県のホームページから「e(工)～コバトン環境マップ」を閲覧できるよう整備を実施</p> <p>(ア) 各種情報のGIS化及びシステム保守(4月～3月) 716千円</p> <p>環境に関する情報を「e(工)～コバトン環境マップ」に掲載できるよう、GISデータ化を図るとともにシステム保守を実施</p> <p>(イ) 「e(工)～コバトン環境マップ」の公開(4月～3月) 338千円</p> <p>インターネットへの接続環境の確保等</p> <p>「e(工)～コバトン環境マップ」=本県の水質や大気、緑や生態系など身の回りの地域に関する幅広い環境情報や防災にも役立つボーリング柱状図などを掲載した地図サイト</p> <p>GIS = Geographical Information System(地理情報システム)の略で、電子化された地図データと統計データや各位置の持つ情報などのデータとを統合的に扱う情報システム</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(2) 事業計画</p> <p>「地理環境情報システム(GIS)」の整備等を引き続き実施し、環境学習への活用や環境配慮への活用など環境保全の気運を高めるとともに、県の環境保護や温暖化対策など、分かりやすい情報発信を図る。</p>					
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(包括算定経費)</p> <p>(区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費</p> <p>(細目) 環境保全対策費</p> <p>(積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策</p>				<p>(3) 事業効果</p> <p>インターネットに接続したパソコンからいつでも自由に閲覧することができるため、環境情報の新たな発信源として、環境学習への活用や企業の環境配慮への活用など環境保全の気運を高める効果が期待できる。</p> <p>また、県民に対し、「数値」と「場所」を結びつけた数値データ付きの地図として分かりやすく環境情報を提供することができるとともに、パソコン利用者がホームページ上の背景図に、本県の環境に関する様々な情報を重ね合わせ、地盤と地層、地層と地下水等の分布図などを作成することができる。</p> <p>さらに、防災対策を考える上での基礎情報としても有効である。</p>					
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.2人=1,900千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	1,054							1,054	79
前年額	1,133							1,133	